

「の～りんの小窓」

～ 第36枠 『まぐろの供養塔』 ～

尾鷲農林水産商工環境事務所の「の～りんの小窓」によろこそ。
このコーナーでは、当事務所管内の出来事や情景などを紹介しています。



今回は、普濟寺の敷地内に建立されたまぐろの供養塔の一枠です。

この供養塔は、江戸時代に須賀利でまぐろが大漁に捕れた際に建てられました。

しかし大漁といっても、須賀利湾のすり鉢状の海底を利用し全住民の魚網をつなぎ合わせ、天然の「生け簀」としてまぐろの大群を囲い込みました。

その後、必要分ずつ捕獲し売りに出したのですが、それは供給過剰による値崩れを防ぐという意味からも極めて有効な手法でした。

このまぐろの大群のお陰で、それまで苦しかった須賀利の集落が非常に潤ったようです。

この供養塔は、そんな素敵な昔話を伝える大事なものです。